

2018年4月 Athle32 機能追加・拡張について

2018年4月のルール修正に伴う修正と、一部機能追加・拡張を実施しました。

1. 混成競技の順位付けに関する変更

第200条の12

競技会でどの順位についても2人以上の競技者が同じ得点をとった場合は同成績とする。

新しいシステムでは自動的にこの機能が有効になり、順位付けを実施すると、同じ得点の場合には同順位がつきます。

→どうしても旧ルール「同得点の他の競技者よりも多くの得点をとった種目の多い競技者を上位の順位、また1種目で最高得点(同得点者間比較)をとった競技者を上位の順位とする…」を使用したい場合には【DINST 大会初期設定】-【番組・ルール関連】の一番下にある「混成競技総合得点順位判定を得点差を考慮し判定する(2017年以前)」にチェックをつけることで旧ルールにも対応可能です。

2. 失格時コメントに関する変更

第132条の4

スタートリストおよび結果には以下の略号を用いるべきである。

途中棄権 (トラック競技) DNF

失格 (各競技規則条文番号も記載) DQ

試技放棄 (離脱) (フィールド競技、混成競技) r

競技者が規則違反で失格になった場合に、公式記録にはどの規則に違反したかを明記する。

競技者が競技者にあるまじき行為を不適切な行為で失格になった場合には、失格の理由について公式記録に明記する。

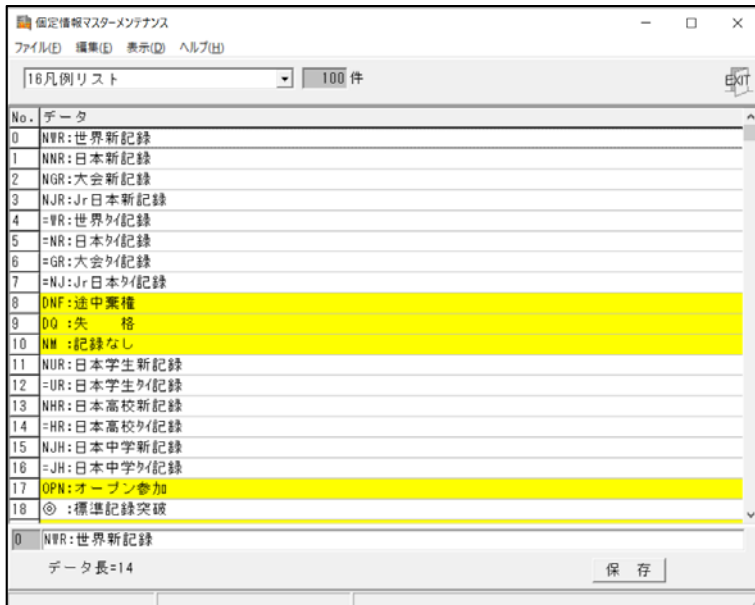
これまでもコメント (固定情報 16 凡例リスト) については、ルールが変わるたびに弊社アップデートサイトにて csv 形式のデータで最新データを配布してきましたが、

・バックアップデータごとに読込を実施しなければすべてのデータで最新のコメントを適用することはできない。→最低1年は大会の度に csv データを読み込ませなければならない。

・共通データとして配布されるこのアップデート csv を読み込むと、独自に作成していたコメント (例、

2018年4月 Athle32 機能追加・拡張について

PR :県新記録など) が消えてしまい、改めて追加しなければならない。といった問題がありました。



このたび、Athle32 アップデータに含めることで、バックアップデータごとに操作を実施していただかなければならないことには変わりはありませんが、簡単な手順で、そのときの最新のデータに更新でき、独自に作成されていたコメントについても消えることなく、自動的に場所を移動することで残すことができるようになりました。操作手順については以下の通りです。

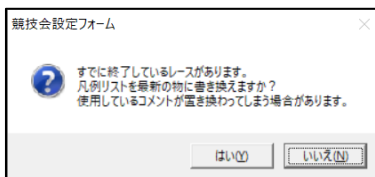
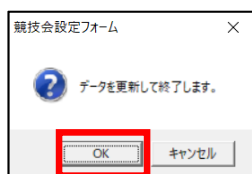
- ①陸上システム更新パッケージを入手し、更新を実行します。
- ②【マスターメンテナンス】－【DINST 大会初期設定】を実行します。



2018年4月 Athle32 機能追加・拡張について

③右下の【設定完了】ボタンを押します。確認メッセージが表示されたら【OK】を押します。

※「すでに終了しているレースがあります。凡例リストを最新の物に書き換えますか？使用しているコメントが置き換わってしまう場合があります。」というメッセージが表示される場合



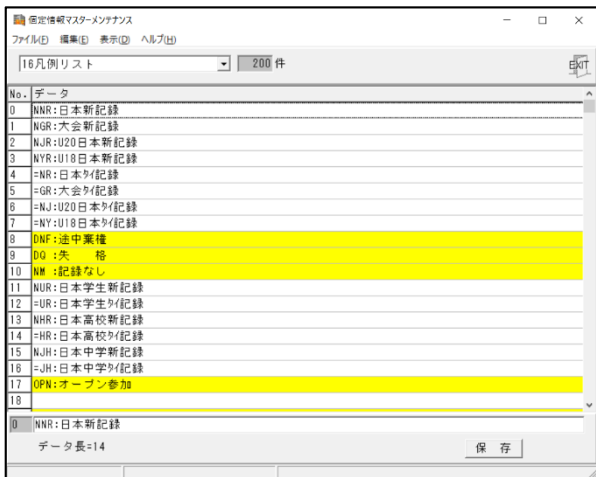
このメッセージはレースが1つでも完了している場合に表示されます。レースが終了している場合には、コメントをすでに使用している可能性があります。使用していた場合、このコメント書き換えが行われてしまうと登録されているコメントの行番号がずれてしまい、すでに使用しているレースのコメントが別のコメントに置き換わってしまう恐れがあります。コメントを絶対に使用していない！（例外：DNS、DNF）ようであれば書き換えを実施しても問題ないかと思いますが、1つでも使用している可能性があるなら実行しないことをおすすめします。できるだけ大会開始前にコメントの書き換えは実施して下さい。

④以下の画面のように固定情報データの再編成が自動的に実行されます。このとき、最新のコメントと略号が異なるものが見つければ自動的に使われていない行（番号）に移動され削除されることはありません。



【閉じる】ボタンでトップメニューに戻ります。

新しいコメントについては、【固定情報】 - 「16 凡例リスト」で確認することができます。



2018年4月 Athle32 機能追加・拡張について

3. 固定情報の拡張

固定情報の最大数を以下の通り拡張しました。拡張する方法は前述「2. 失格時コメントに関する変更」のDINST大会初期設定を「設定完了」することで領域が広がるようになっています。

・「16 凡例リスト」

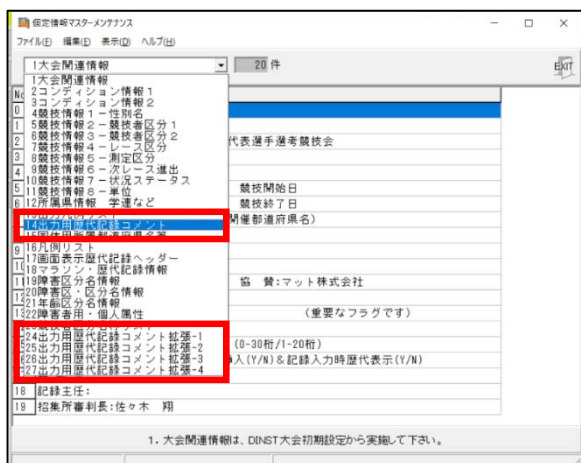
これまで「0」～「99」行まででしたが、「0」～「199」に拡張しました。従来システム (DOS) や陸上システムのバージョンが古い場合には従来通りの「0」～「99」行までしか表示・読込できません。

・「14 出力用歴代記録コメント」

これまで「0」～「889」行まででしたが、「0」～「4999」に拡張しました。

内部的には 1000 行ごとに分かれています。csv データを作成してインポートする場合は通し行番号「0」～「4999」で扱うことで自動的に以下の5つの場所に格納され、競技マスター等から呼び出す際にも同じく通し行番号「0」～「4999」で呼び出されます。

「14 出力用歴代記録コメント」	0～999 (従来)
「24 出力用歴代記録コメント拡張-1」	1000～1999
「25 出力用歴代記録コメント拡張-2」	2000～2999
「26 出力用歴代記録コメント拡張-3」	3000～3999
「27 出力用歴代記録コメント拡張-4」	4000～4999



Excel 等表計算ソフトで作成する場合、先頭列に「14」、2列目に「0」～「4999」の行番号を登録。カンマ区切り (csv) で保存して固定情報にインポートすると5つの項目に自動的に分けて保存される。

A	B	C
990	14 989	アジア記録 (AR) T43 %AR
991	14 990	日本記録 (NR) T43 %NR 中村国一
992	14 991	大会記録 (GR) T43 %GR 中村国一
993	14 992	
994	14 993	アジア記録 (AR) T44 %AR 佐藤圭太
995	14 994	日本記録 (NR) T44 %NR 佐藤圭太
996	14 995	大会記録 (GR) T44 %GR 佐藤圭太
997	14 996	
998	14 997	
999	14 998	日本記録 (NR) T47 %NR 多川知希
1000	14 999	大会記録 (GR) T47 %GR 多川知希
1001	14 1000	世界記録 (WR) T49 該当外
1002	14 1001	アジア記録 (AR) T49 該当外
1003	14 1002	日本記録 (NR) T49 該当なし
1004	14 1003	大会記録 (GR) T49 該当なし
1005	14 1004	世界記録 (WR) T51 %WR
1006	14 1005	アジア記録 (AR) T51 %AR 植田政徳
1007	14 1006	日本記録 (NR) T51 %NR 植田政徳
1008	14 1007	大会記録 (GR) T51 %GR 井上 聡
1009	14 1008	
1010	14 1009	アジア記録 (AR) T52 %AR 伊藤智也
1011	14 1010	日本記録 (NR) T52 %NR 伊藤智也
1012	14 1011	大会記録 (GR) T52 %GR 伊藤智也
1013	14 1012	
1014	14 1013	アジア記録 (AR) T53 %AR
1015	14 1014	日本記録 (NR) T53 %NR 畷 康弘
1016	14 1015	大会記録 (GR) T53 %GR 廣道 純

14,989,アジア記録 (AR) T43 %AR
14,990,日本記録 (NR) T43 %NR 中村国一
14,991,大会記録 (GR) T43 %GR 中村国一
14,992,
14,993,アジア記録 (AR) T44 %AR 佐藤圭太
14,994,日本記録 (NR) T44 %NR 佐藤圭太
14,995,大会記録 (GR) T44 %GR 佐藤圭太
14,996,
14,997,
14,998,日本記録 (NR) T47 %NR 多川知希
14,999,大会記録 (GR) T47 %GR 多川知希
14,1000,世界記録 (WR) T49 該当外
14,1001,アジア記録 (AR) T49 該当外
14,1002,日本記録 (NR) T49 該当なし
14,1003,大会記録 (GR) T49 該当なし
14,1004,世界記録 (WR) T51 %WR
14,1005,アジア記録 (AR) T51 %AR 植田政徳
14,1006,日本記録 (NR) T51 %NR 植田政徳
14,1007,大会記録 (GR) T51 %GR 井上 聡
14,1008,
14,1009,アジア記録 (AR) T52 %AR 伊藤智也
14,1010,日本記録 (NR) T52 %NR 伊藤智也
14,1011,大会記録 (GR) T52 %GR 伊藤智也
14,1012,
14,1013,アジア記録 (AR) T53 %AR
14,1014,日本記録 (NR) T53 %NR 畷 康弘
14,1015,大会記録 (GR) T53 %GR 廣道 純

競技マスターcsv をインポートする場合でも合計 1000 件を越える場合には、「24 出力用歴代記録コメント拡張-1」「25 出力用歴代記録コメント拡張-2」... と 1000 件単位で自動的に分けて保存されます。

2018年4月 Athle32 機能追加・拡張について

4. 「YC:警告」第125条5項の取り扱いと特例措置の対応、その運用・処理方法について

第125条の5

審判長は競技者にあるまじき行為、下品な行為をした競技者や第144条(競技者に対する助力)、第162条5(スタートにおいて、信号器発射の前に正当な理由もなく手を挙げる・クラウチングの姿勢から立ち上がる・合図に従わない・遅れることなく速やかに最終の用意の位置につかない・音声や動作、その他の方法で他の競技者を妨害する)、第163条14(途中時間を知らせる助力行為)、第163条15c・第230条10h・第240条8h(他の競技者から繰り返し飲食物の提供が行われる助力行為)、第180条5(フィールド競技で事前に決められた試技順とは異なる順番で試技を行った場合)、第180条19(審判員の許可を得ることなく、かつ審判員が伴わず競技者が競技進行中に競技場所を離れる行為)、第230条7d(競歩競技で失格した競技者がコースまたはトラックから離れない・ピットレーンに入ることおよびピットレーン内にとどまることの指示に従わない場合)に違反があった競技者に警告を与えたり、当該競技から除外する権限を持つ。警告はイエローカード、除外はレッドカードを示す...(中略)。警告や除外の事実は記録用紙に記入し、その旨を記録・情報処理員および審判長に知らせなくてはならない。(以下略)

このルールに従って、以下のように運用して下さい。

▼競技者にイエローカードが出されたとき・・・コメントで「YC:警告(R125.5)」をつける。

→このとき、そのレースで「失格」の判定がない限り「DQ」コメントはつけない。

同時に、競技者マスターで当該競技者を呼び出し、「氏名漢字(30)」の氏名の後ろに半角括弧付きでYC記号をつける。これで他の種目でも表示画面・印刷リストにはYC記号が表示・印字されるようになります。

例. 山田 太郎 → 山田 太郎(YC)

(学年や生まれ年が括弧付きですすでにある場合には後ろに(YC)をつけ「山田 太郎(1)(YC)」とする)

※競技会中であることが大半だと思いますので、マスターを編集する前には必ずサーバーから最新マスターをダウンロード(マスターコピー)してから登録を実施、登録終了後はサーバーへのマスターデータのアップ(マスターコピー)を実施し、各クライアントコンピューターはサーバーからマスターのダウンロード(マスターコピー)を忘れずに行ってください。

▼競技者に2枚目のイエローカードが出されたとき・・・コメントで「YRC:2回目の警告による除外(R145.2)」をつける。氏名漢字の後ろにYCがあるかどうか確認する。

同時に、競技者マスターで当該競技者を呼び出し、「氏名漢字(30)」の氏名の後ろに半角括弧付きでついているYC記号をYRCに変更する。これで他の種目でも表示画面・印刷リストにはYRC記号が表示・印字されるようになります。

例. 山田 太郎(YC) → 山田 太郎(YRC)

以降の競技に出場している場合には、そのレースの番組から除外するまたはDNSで処理をする。

▼スタートにおいて第162条5国内の特例を適用する場合

第162条の5[国内]

本連盟主催・共催大会以外の競技会では、主催者が第162条5を適用するか否かを定めることができる。(中略)

この場合、主催者は(a)(b)(c)の不適切行為を注意にとどめることも、警告対象として2枚のイエローカードの提示を受けた競技者について当該種目のみを失格とし、それ以後のすべての種目から除外しないとすることもできる。(後略)

▼コメントで「DQ:失格」と「YDQ:2回目の警告による当該種目の失格(R162.5国内)」をつける。

DQをつけることで当該レースの順位から除かれ、イエローカード2枚だが当該種目のみ失格であることを示すYDQをつけて処理する。

2018年4月 Athle32 機能追加・拡張について

5. 混成競技個々の種目の資格記録登録機能と自動番組

【これまで】

選手の資格記録は総合得点のみ登録でき、プログラム編成の組分けはすべてランダムによって実施

【新機能】

- ・混成競技の個々の種目（十種 100m、十種走幅跳など）の資格記録を事前に収集し、登録することで記録に応じた組分けを実現
- ・事前に組・レーン・試技順が決められている場合にはその情報を事前に登録することで、番組編成時に指定した組・レーン・試技順に自動的に並べることでできる自動番組に対応
→具体的なデータの作成・操作方法については別紙操作説明でご確認ください。

6. 番組編成基礎情報入力画面の変更と完了時「●番」保持機能の追加

▼番組編成基礎情報入力画面の変更

予選の番組編成をしたときに、必ず記録の一番良い人が1組、二番目に良い人が2組、三番目に良い人が3組という具合に（以下同様に）並んでしまい、「走るべき組の順序は組の編成が決定された後、抽選によって決められる」といういわゆる陸連のルールの通りにならない！？

このお問い合わせが多かったため、番組編成基礎情報入力画面を変更することとしました。

●旧画面

審判長名 該当人数 25
記録主任 男子 400m 予選
その他
測定区分 01-電計1/100秒
組数
条件
 着+ 組分け条件指定
 タイムレース
● 記録の良い人から順に組分け
○ 記録の悪い人から順に組分け
○ 組均等(ジャバラ式)
組内配置
● ランダム ○ 記録の悪い順
○ 記録の良い順 ○ セパレートレーンシート
日付・時刻
年 月 日 時 分 コール完了
時 分 開始 日付時刻を記憶
 自動番組
 同所属自動振分機能を使用
OK キャンセル

いわゆる陸連ルール通りの番編をしようとして、「陸連ルール通り＝組均等（ジャバラ式）」だと勘違いされてしまい、必ず「組分け条件指定」にチェックをつけて「組均等（ジャバラ式）」「組内配置＝ランダム」を選択されているようです。これは間違いです。

いわゆる陸連ルール通りの場合には「組分け条件指定」にはチェックをつけずそのまま実施すれば自動的に陸連ルール通りの番編がされます。

「組分け条件指定」「組均等（ジャバラ式）」「組内配置＝ランダム」は、最初に紹介した、必ず記録の一番良い人が1組、二番目に良い人が2組、三番目に良い人が3組という具合に並ぶ仕組みとなっています。

2018年4月 Athle32 機能追加・拡張について

す（このように並べたいというリクエストがあり、あえてこうなるようにしています）。

●新画面

新画面ではまず「通常 (=陸連ルール通り)」かあえて「組分け条件を指定する」かを選択するように変更しました。陸連のルール通りの番編を実施したい場合は「通常」を選択するようにして下さい。

▼番組編成完了時の「●番」保持機能

番組編成中はコンソラー画面に「●番」という記号が表示されます。この表示がついている間は、そのレースは番組編成中という扱いになります。この記号が消えると番編確定ということになります。

「●番」保持機能はまさに、番編画面を終了してもこの状態をキープする機能となります。

ではどんな場面で必要でしょうか。

例) 次ラウンドの番組編成で抽選などが発生し、進出する選手の決定に時間がかかり、確定までに時間を要しているような場合、別の種目の番組編成をしなければいけないという場合があります。そのような場合に、一旦番編画面は閉じますが、「●番」をつけてたままにしておくことでまだ番組編成中であることを知らせることができます。陸上システムとしてもまだ番編中だと判断をします。本当に確定させる場合には、再度その番組編成を開き、今度は通常の完了終了をすれば「●番」は消えます。

「●番」保持機能は番組編成の最後にメッセージで問われます。

【いいえ】 ボタンをクリックすると「●番」を保持して終了することができます。

2018年4月 Athle32 機能追加・拡張について

7. 版下作成、フィールド6回試技系予選としない場合に6回分の記入枠を出力

フィールド6回試技系種目で、予選を実施するくらいの大人数だが予選を実施する時間はないような場合、最初の3回を複数ピットで実施し、3回目終了時点で合体してTOP8の8人を決定し、その8人で残りの3回を実施するような場合に、「予選」で組み分けして「予選として実施しない」のチェックをつけた場合、版下で結果記入枠を作成するとこれまでは3回分の記入枠しか印字できませんでしたが、版下のレース設定画面で6回を選択することで6回分の枠を印字できるようになりました。

ここで選択する

印刷例

男子 三段跳										決勝 3月30日 10:30	
世界記録 (WR)	18m29	J・ドワーズ	(GBR・イギリス)	1995							
アジア記録 (AR)	17m59	李 延熙	(CHN・中国)	2009							
日本記録 (NR)	17m15	山下 訓史	(東京・日本電気)	1986							
Jr日本記録 (JR)	16m29	中西 正美	(埼玉・日本体育大)	1977							
大会記録 (CR)	17m15	山下 訓史	(東京・日本電気)	1986							

決勝 全2組														
1組														
試順	試者	氏名	所属	資格記録	1回目	2回目	3回目	3回までの最高	4回以降の試技順	4回目	5回目	6回目	記録	順位
1	275	久次米 連郎 (87)	愛媛 媛 媛陸協	16m16	m	m	m	m		m	m	m	m	
2	279	清野 一善 (78)	三重 Ise Track Club	15m92	++	++	++	++		++	++	++	++	
3	286	藤田 博 (88)	岡山 山 東部大	15m76	++	++	++	++		++	++	++	++	
4	282	海羽瀬 航平 (81)	愛知 大島プレス	15m87	++	++	++	++		++	++	++	++	
5	263	岡田 英之 (86)	福岡 サブマリン	16m09	++	++	++	++		++	++	++	++	
6	278	櫻瀬 勇希 (87)	岩手 北上AC	15m93	++	++	++	++		++	++	++	++	
7	287	土田 聡 (85)	山口 山下合同ガス	15m74	++	++	++	++		++	++	++	++	
8	283	鎌月 智貴 (84)	長野 長あまくさAC	15m86	++	++	++	++		++	++	++	++	
9	272	新井 泰之 (85)	東京 京 東国土健クラブ	16m26	++	++	++	++		++	++	++	++	

2組														
試順	試者	氏名	所属	資格記録	1回目	2回目	3回目	3回までの最高	4回以降の試技順	4回目	5回目	6回目	記録	順位
1	285	佐瀬 照章 (86)	北海道 さくら大	15m78	m	m	m	m		m	m	m	m	
2	284	久保 大海 (87)	東京 New Mode AC	15m85	++	++	++	++		++	++	++	++	
3	276	森本 直 (82)	神奈川 TAC	16m02	++	++	++	++		++	++	++	++	
4	273	土井 悠太 (87)	大阪 近畿ガス	16m19	++	++	++	++		++	++	++	++	
5	270	塚原 直宏 (82)	高知 高知million	16m39	++	++	++	++		++	++	++	++	
6	281	小野 航太 (89)	兵庫 兵庫 筑紫大	15m88	++	++	++	++		++	++	++	++	

以上